

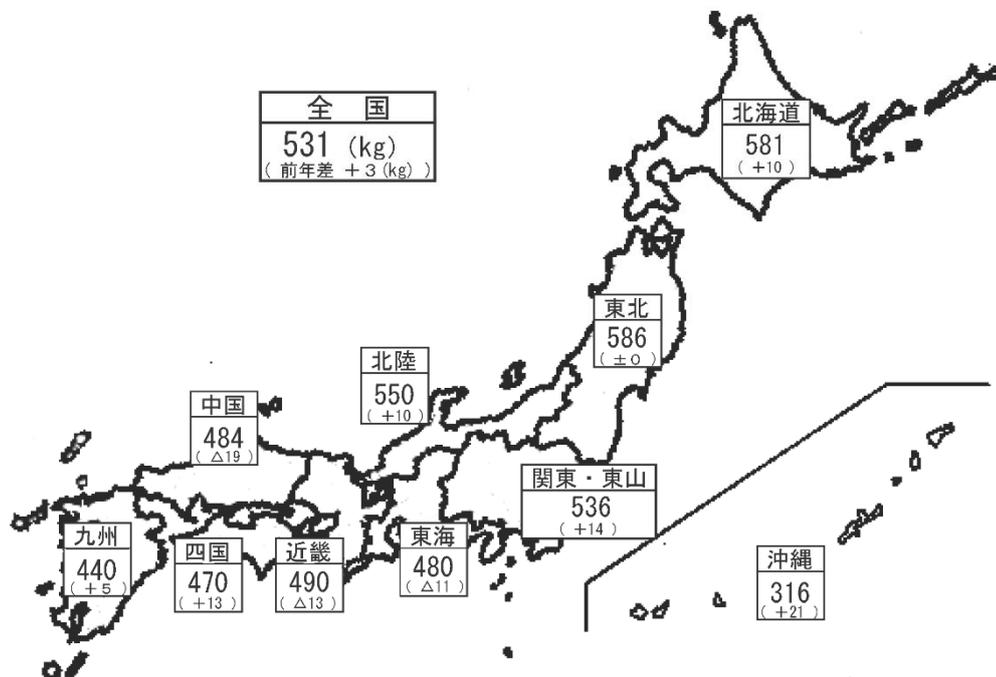
令和2年産水陸稲の収穫量

－ 水稲の収穫量（主食用）は722万5,000t －

【調査結果の概要】

- 1 令和2年産水稲の作付面積（子実用）は146万2,000haで、前年産に比べ7,000ha減少した。うち主食用作付面積は136万6,000haで、前年産に比べ1万3,000ha減少した。
- 2 全国の10a当たり収量は531kgで、前年産に比べ3kgの増加が見込まれる。
- 3 以上の結果、収穫量（子実用）は776万3,000tで、前年産に比べ1,000tの増加が見込まれる。このうち、主食用の収穫量は722万5,000tで、前年産に比べ3万6,000tの減少が見込まれる。
- 4 なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は99となる見込み。
- 5 令和2年産陸稲の作付面積（子実用）は636haで、10a当たり収量は236kgとなり、収穫量（子実用）は1,500tとなった。

図1 水稲の全国農業地域別10a当たり収量



- 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
- 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10a当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5 】

◎ 水陸稲調査結果の主な利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）

年 産	水 陸 稲 計		水			稲		
	作付面積 (子実用)	収穫量 (子実用)	作付面積 (子実用)	10 a 当たり 収 量	収穫量 (子実用)	参 考		
						主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	t	ha	kg	t	ha	t	
平成12年産	1,770,000	9,490,000	1,763,000	537	9,472,000	…	…	104
13	1,706,000	9,057,000	1,700,000	532	9,048,000	…	…	103
14	1,688,000	8,889,000	1,683,000	527	8,876,000	…	…	101
15	1,665,000	7,792,000	1,660,000	469	7,779,000	…	…	90
16	1,701,000	8,730,000	1,697,000	514	8,721,000	…	…	98
17	1,706,000	9,074,000	1,702,000	532	9,062,000	…	…	101
18	1,688,000	8,556,000	1,684,000	507	8,546,000	…	…	96
19	1,673,000	8,714,000	1,669,000	522	8,705,000	…	…	99
20	1,627,000	8,823,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	102
21	1,624,000	8,474,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	98
22	1,628,000	8,483,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	98
23	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	101
24	1,581,000	8,523,000	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	102
25	1,599,000	8,607,000	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	102
26	1,575,000	8,439,000	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27	1,506,000	7,989,000	1,505,000	531	7,986,000	1,406,000	7,442,000	100
28	1,479,000	8,044,000	1,478,000	544	8,042,000	1,381,000	7,496,000	103
29	1,466,000	7,824,000	1,465,000	534	7,822,000	1,370,000	7,306,000	100
30	1,470,000	7,782,000	1,470,000	529	7,780,000	1,386,000	7,327,000	98
令和元	1,470,000	7,764,000	1,469,000	528	7,762,000	1,379,000	7,261,000	99
2 (概数值)	1,462,000	7,765,000	1,462,000	531	7,763,000	1,366,000	7,225,000	99

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

3 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

4 作況指数は、10 a 当たり年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までの作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降の作況指数は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5 「…」は、調査を欠くことを示している。

水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a 当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合 45%）以上に相当するよう、ふるい目幅 1.70mm 以上で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている（24 ページ【参考 1】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表 1 ふるい目幅別重量分布状況の推移（全国）

単位：%

年 産	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
平成27年産	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8
28	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
29	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
令和元	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2 (概数値)	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
平均値	100.0	0.8	1.4	2.0	2.8	15.7	77.3
対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.1	0.1	△ 1.3	1.4

注：平均値は、直近5か年の重量割合の平均である。

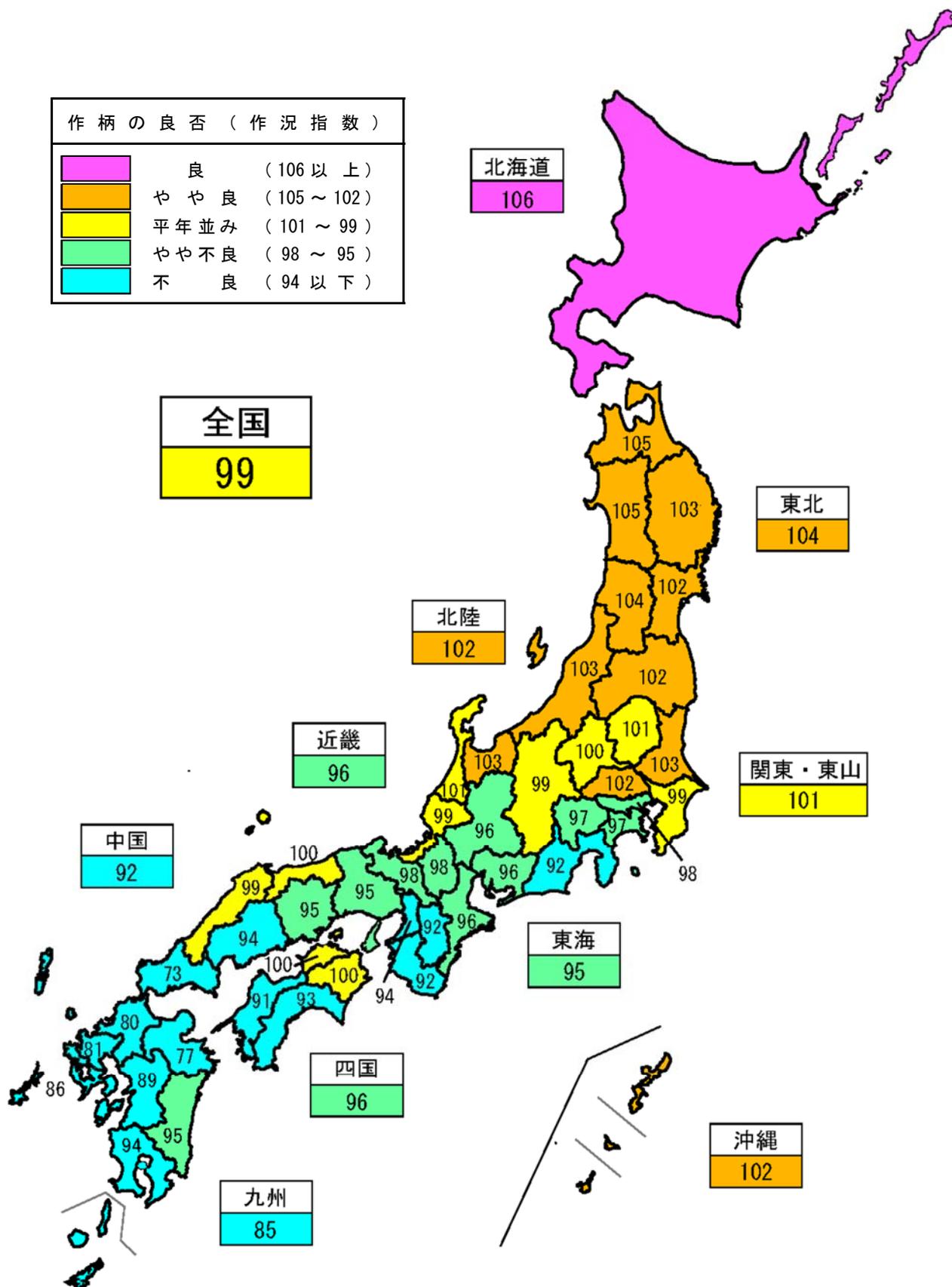
表 2 ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（全国）

年 産		単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
平成27年産	10a 当たり収量	kg	531	527	519	509	494	413
	収穫量(子実用)	t	7,986,000	7,922,000	7,810,000	7,651,000	7,435,000	6,213,000
28	10a 当たり収量	kg	544	540	534	524	511	435
	収穫量(子実用)	t	8,042,000	7,986,000	7,889,000	7,752,000	7,559,000	6,434,000
29	10a 当たり収量	kg	534	529	521	510	494	409
	収穫量(子実用)	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
30	10a 当たり収量	kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量(子実用)	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
令和元	10a 当たり収量	kg	528	524	517	507	492	411
	収穫量(子実用)	t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
2 (概数値)	10a 当たり収量	kg	531	527	520	510	494	418
	収穫量(子実用)	t	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
	対前年比	%	100	100	100	100	100	101

注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図2 全国農業地域・都道府県別作況指数



注：1 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する 10 a 当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去 5 か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

【調査結果】

1 作柄概況（統計表 10、11、23 ページ参照）

(1) 水 稻

ア 水稻の作付面積（子実用）は146万2,000ha（前年産に比べ7,000ha減少）で、このうち、主食用作付面積は136万6,000ha（前年産に比べ1万3,000ha減少）となった。

イ 水稻の全国の10a当たり収量は531kg（前年産に比べ3kg増加）が見込まれる。これは、北海道、東北及び北陸においては、全もみ数が確保され、登熟も順調に推移したことから、作柄が平年を上回った一方、東海以西においては、トビイロウンカの被害、登熟期の日照不足等により登熟が不良となったこと、さらに九州地方では台風の影響もあり作柄が平年を下回ったためである。

ウ 地域別の10a当たり収量は、北海道は581kg（前年産に比べ10kg増加）、東北は586kg（同値）、北陸は550kg（同10kg増加）、関東・東山は536kg（同14kg増加）、東海は480kg（同11kg減少）、近畿は490kg（同13kg減少）、中国は484kg（同19kg減少）、四国は470kg（同13kg増加）、九州は440kg（同5kg増加）、沖縄は316kg（同21kg増加）となった。

エ 以上の結果、収穫量（子実用）は776万3,000t（前年産に比べ1,000t増加）が見込まれる。このうち、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、722万5,000t（前年産に比べ3万6,000t減少）が見込まれる。

表3 令和2年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 農 業 地 域	作付面積（子実用）			10a当たり収量		収穫量（子実用）			参 考		
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	前年産との比較	実 数 ③=①×②	前年産との比較		主食用 作付面積 ④	収穫量 （主食用） ⑤=④×②	作況指数
		対差	対比				対差	対比			
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,462,000	△ 7,000	100	531	3	7,763,000	1,000	100	1,366,000	7,225,000	99
北 海 道	102,300	△ 700	99	581	10	594,400	6,300	101	95,300	553,700	106
東 北	381,500	△ 500	100	586	0	2,236,000	△ 3,000	100	342,000	2,000,000	104
北 陸	206,400	△ 100	100	550	10	1,135,000	20,000	102	185,900	1,021,000	102
関 東・東 山	269,600	△ 1,500	99	536	14	1,444,000	30,000	102	255,800	1,370,000	101
東 海	92,500	△ 600	99	480	△ 11	444,000	△ 13,100	97	89,800	431,500	95
近 畿	101,300	△ 1,300	99	490	△ 13	496,000	△ 20,400	96	97,700	478,000	96
中 国	101,200	△ 900	99	484	△ 19	489,700	△ 23,500	95	98,200	475,700	92
四 国	47,400	△ 900	98	470	13	222,800	2,100	101	46,900	219,900	96
九 州	158,600	△ 1,400	99	440	5	698,500	2,100	100	153,200	673,300	85
沖 縄	650	△ 27	96	316	21	2,050	50	103	630	1,990	102

- 注：1 10a当たり収量及び収穫量（子実用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
 3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
 4 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 5 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

(2) 陸 稲

陸稲の作付面積（子実用）は 636ha（前年産に比べ 66ha 減少）で、10 a 当たり収量は 236kg（前年産に比べ 8kg 増加）となり、収穫量（子実用）は 1,500 t（前年産に比べ 100t 減少）となった。

2 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10 a 当たり収量及び収穫量（子実用）等
（統計表 14～19 ページ参照）

令和 2 年産水稲のふるい目幅別重量分布状況は、全国平均の1.85mm以上の玄米の重量割合は96.0%と、直近 5 か年平均値に比べ0.2ポイント高くなっている。

表 4 ふるい目幅別重量分布状況

全 国 農業地域	区 分	計	単位：%					
			1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
全 国	重量割合	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
	平均値	100.0	0.8	1.4	2.0	2.8	15.7	77.3
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.1	0.1	△ 1.3	1.4
北 海 道	重量割合	100.0	0.5	0.8	1.1	1.7	9.9	86.0
	平均値	100.0	0.6	1.0	1.2	1.9	11.1	84.2
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 1.2	1.8
東 北	重量割合	100.0	0.4	1.0	1.4	2.3	11.5	83.4
	平均値	100.0	0.6	1.1	1.6	2.4	13.4	80.9
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	△ 1.9	2.5
北 陸	重量割合	100.0	0.5	1.0	1.3	2.1	12.0	83.1
	平均値	100.0	0.6	1.2	1.6	2.5	14.4	79.7
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.4	△ 2.4	3.4
関東・東山	重量割合	100.0	0.6	1.0	1.5	2.4	16.1	78.4
	平均値	100.0	1.0	1.5	2.2	3.4	19.9	72.0
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.7	△ 1.0	△ 3.8	6.4
東 海	重量割合	100.0	0.8	1.3	2.0	2.5	11.9	81.5
	平均値	100.0	0.8	1.3	1.9	2.3	12.8	80.9
	対平均差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	△ 0.9	0.6
近 畿	重量割合	100.0	1.0	1.8	2.1	3.1	14.3	77.7
	平均値	100.0	0.9	1.5	2.0	2.6	13.8	79.2
	対平均差(ポイント)	0.0	0.1	0.3	0.1	0.5	0.5	△ 1.5
中 国	重量割合	100.0	1.0	1.9	2.6	3.7	16.7	74.1
	平均値	100.0	0.8	1.3	2.0	2.5	13.4	80.0
	対平均差(ポイント)	0.0	0.2	0.6	0.6	1.2	3.3	△ 5.9
四 国	重量割合	100.0	1.4	2.4	3.1	3.9	18.9	70.3
	平均値	100.0	1.0	1.8	2.6	3.5	17.8	73.3
	対平均差(ポイント)	0.0	0.4	0.6	0.5	0.4	1.1	△ 3.0
九 州	重量割合	100.0	2.0	3.7	4.4	6.7	26.4	56.8
	平均値	100.0	1.3	2.4	3.4	4.7	23.1	65.1
	対平均差(ポイント)	0.0	0.7	1.3	1.0	2.0	3.3	△ 8.3
沖 縄	重量割合	100.0	0.3	0.6	1.1	1.5	10.0	86.5
	平均値	100.0	0.7	1.4	2.0	2.9	13.5	79.5
	対平均差(ポイント)	0.0	△ 0.4	△ 0.8	△ 0.9	△ 1.4	△ 3.5	7.0

注：平均値は、直近 5 か年の重量割合の平均である。

表5 ふるい目幅別10a 当たり収量及び収穫量（子実用）

全 国 農業地域	区 分	単位	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	10a 当たり収量	kg	531	527	520	510	494	418
	収穫量(子実用)	t	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
北 海 道	10a 当たり収量	kg	581	578	573	567	557	500
	収穫量(子実用)	t	594,400	591,400	586,700	580,100	570,000	511,200
東 北	10a 当たり収量	kg	586	584	578	570	556	489
	収穫量(子実用)	t	2,236,000	2,227,000	2,205,000	2,173,000	2,122,000	1,865,000
北 陸	10a 当たり収量	kg	550	547	542	535	523	457
	収穫量(子実用)	t	1,135,000	1,129,000	1,118,000	1,103,000	1,079,000	943,200
関東・東山	10a 当たり収量	kg	536	533	527	519	507	420
	収穫量(子実用)	t	1,444,000	1,435,000	1,421,000	1,399,000	1,365,000	1,132,000
東 海	10a 当たり収量	kg	480	476	470	460	448	391
	収穫量(子実用)	t	444,000	440,400	434,700	425,800	414,700	361,900
近 畿	10a 当たり収量	kg	490	485	476	466	451	381
	収穫量(子実用)	t	496,000	491,000	482,100	471,700	456,300	385,400
中 国	10a 当たり収量	kg	484	479	470	457	439	359
	収穫量(子実用)	t	489,700	484,800	475,500	462,800	444,600	362,900
四 国	10a 当たり収量	kg	470	463	452	438	419	330
	収穫量(子実用)	t	222,800	219,700	214,300	207,400	198,700	156,600
九 州	10a 当たり収量	kg	440	431	415	396	366	250
	収穫量(子実用)	t	698,500	684,500	658,700	628,000	581,200	396,700
沖 縄	10a 当たり収量	kg	316	315	313	310	305	273
	収穫量(子実用)	t	2,050	2,040	2,030	2,010	1,980	1,770

注：1 ふるい目幅別の10a 当たり収量とは、全国又は全国農業地域別の10a 当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。
 2 ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国又は全国農業地域別の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

表6 水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布
 【令和2年産水稲作況標本（基準）筆農家からの聞き取り結果】

全 国 農業地域	計	単位：%					
		1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
全 国	100.0	0.1	2.3	24.8	37.6	34.5	0.7
北 海 道	100.0	-	-	-	19.2	77.9	2.9
東 北	100.0	-	0.1	0.7	16.0	83.0	0.2
北 陸	100.0	0.1	0.2	1.5	36.4	60.3	1.5
関東・東山	100.0	0.1	5.3	40.2	51.6	2.4	0.4
東 海	100.0	0.1	2.1	25.4	62.0	9.9	0.5
近 畿	100.0	0.5	8.0	40.7	32.7	16.3	1.8
中 国	100.0	0.2	0.4	18.0	58.3	22.7	0.4
四 国	100.0	0.2	6.2	75.1	18.3	0.2	-
九 州	100.0	0.2	1.0	45.5	46.3	6.9	0.1
沖 縄	100.0	-	16.7	83.3	-	-	-

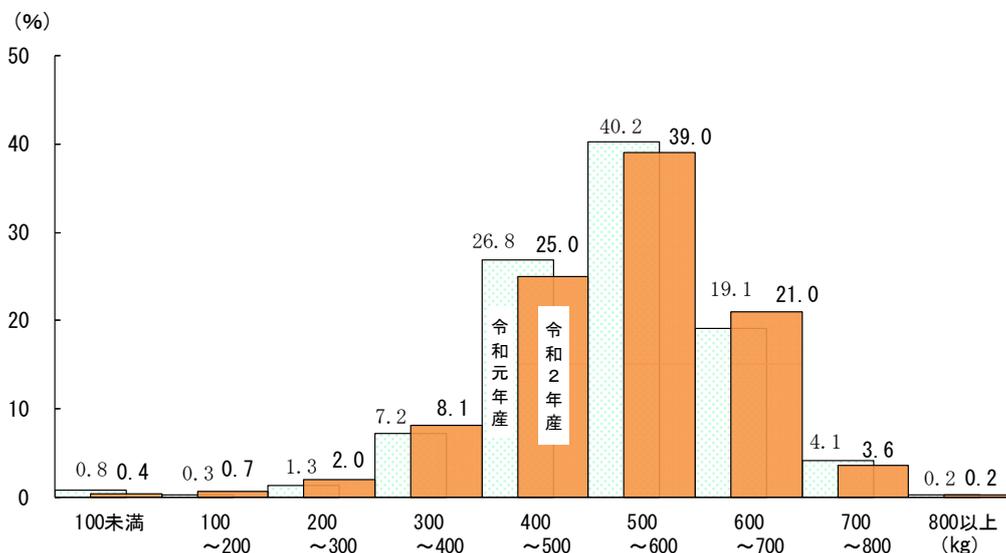
注：農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稲作況標本（基準）筆農家を使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

表7 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況

全 国 農業地域	区 分	計	単位：%									
			100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg 以上	
全 国	筆数割合	100.0	0.4	0.7	2.0	8.1	25.0	39.0	21.0	3.6	0.2	
	前年値	100.0	0.8	0.3	1.3	7.2	26.8	40.2	19.1	4.1	0.2	
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.4	0.4	0.7	0.9	△ 1.8	△ 1.2	1.9	△ 0.5	0.0	
北 海 道	筆数割合	100.0	-	-	0.2	0.7	12.8	37.2	44.1	5.0	-	
	前年値	100.0	-	-	0.2	1.6	13.5	47.9	33.3	3.3	0.2	
	対前年差(ポイント)	0.0	-	-	0.0	△ 0.9	△ 0.7	△ 10.7	10.8	1.7	△ 0.2	
東 北	筆数割合	100.0	-	0.2	0.4	2.4	9.9	37.0	38.4	11.0	0.7	
	前年値	100.0	0.0	0.1	0.5	1.6	10.0	37.1	38.7	11.2	0.8	
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.1	△ 0.1	0.8	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.2	△ 0.1	
北 陸	筆数割合	100.0	0.2	-	0.2	2.4	18.3	50.2	27.1	1.5	0.1	
	前年値	100.0	0.1	-	1.3	3.9	18.9	50.9	21.9	2.8	0.2	
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	-	△ 1.1	△ 1.5	△ 0.6	△ 0.7	5.2	△ 1.3	△ 0.1	
関東・東山	筆数割合	100.0	-	0.1	0.7	6.2	21.3	44.0	23.2	4.2	0.3	
	前年値	100.0	0.1	0.1	0.9	6.1	26.6	41.9	18.2	6.0	0.1	
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.2	0.1	△ 5.3	2.1	5.0	△ 1.8	0.2	
東 海	筆数割合	100.0	-	0.4	1.3	11.9	37.9	39.4	8.7	0.4	-	
	前年値	100.0	0.4	0.4	1.4	9.2	33.6	43.1	10.7	1.1	0.1	
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.4	0.0	△ 0.1	2.7	4.3	△ 3.7	△ 2.0	△ 0.7	△ 0.1	
近 畿	筆数割合	100.0	-	0.5	2.0	8.6	38.2	41.3	9.2	0.2	-	
	前年値	100.0	-	-	2.1	7.0	32.5	44.9	12.7	0.8	-	
	対前年差(ポイント)	0.0	-	0.5	△ 0.1	1.6	5.7	△ 3.6	△ 3.5	△ 0.6	-	
中 国	筆数割合	100.0	1.3	1.7	3.6	11.2	29.3	36.4	14.4	1.9	0.2	
	前年値	100.0	0.2	0.5	1.4	7.6	33.0	42.2	13.1	1.9	0.1	
	対前年差(ポイント)	0.0	1.1	1.2	2.2	3.6	△ 3.7	△ 5.8	1.3	0.0	0.1	
四 国	筆数割合	100.0	0.3	1.0	3.6	15.6	37.1	33.6	8.0	0.8	-	
	前年値	100.0	0.3	1.3	2.9	17.3	42.4	30.6	5.0	0.2	-	
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	△ 0.3	0.7	△ 1.7	△ 5.3	3.0	3.0	0.6	-	
九 州	筆数割合	100.0	1.6	2.2	6.5	17.4	36.2	31.0	4.8	0.3	-	
	前年値	100.0	4.5	0.8	2.2	15.4	44.2	29.5	3.4	-	-	
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 2.9	1.4	4.3	2.0	△ 8.0	1.5	1.4	0.3	-	

注：1 10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
2 沖縄については、作況標本筆を設置していないことから、調査結果を表記していない。

図3 令和2年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況（全国）



3 水稻の玄米品位の状況（統計表 22 ページ参照）

令和2年産水稻の玄米品位の状況は、全国では、整粒の割合が68.6%と、前年産に比べ0.2ポイント高くなっている。

表8 令和2年産水稻の玄米品位の状況（全国）

区 分	整 粒	未熟粒	乳白粒・腹白粒		被害粒	死米・着色粒
重量割合	68.6	24.9	2.9		6.5	0.7
前年値	68.4	24.2	4.2		7.4	0.9
対前年差(ポイント)	0.2	0.7	△ 1.3		△ 0.9	△ 0.2

注：作況基準筆等の刈取試料を穀粒判別器を用いて品位分析したものである。

【統計表】

統計表一覧

ページ

1	令和2年産水稻の作付面積及び収穫量	10
2	令和2年産水稻の収量構成要素（水稻作況標本筆調査成績）	12
3	令和2年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況	14
4	令和2年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量	16
5	令和2年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）	17
6	令和2年産水稻における農家等が使用したふるい目幅の分布	18
7	令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況	19
8	令和2年産水稻の作柄表示地帯別作況指数	20
9	令和2年産水稻の玄米品位の状況	22
10	令和2年産水稻の被害面積及び被害量（全国）	22
11	令和2年産陸稲の作付面積及び収穫量	23

利用上の注意

- 1 統計数値については、次表の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原数	7桁以上 (100万)	6桁 (10万)	5桁 (1万)	4桁 (1,000)	3桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）	3桁	2桁		1桁	四捨五入しない
例					
四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

- 2 表中に用いた記号は次のとおりである。
- 「0」、「0.0」： 単位に満たないもの（例：0.4ha→0ha）又は増減がないもの
 - 「—」： 事実のないもの
 - 「…」： 事実不詳又は調査を欠くもの
 - 「△」： 負数又は減少したもの
 - 「nc」： 計算不能
- 3 この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和2年産水陸稲の収穫量」（農林水産省）による旨を記載してください。

1 令和2年産水稻の作付面積及び収穫量

全 国 都道府県	作付面積（子実用）			10 a 当たり 収 量 ②	（参考）農家等が使用している ふるい目幅で選別			
	実 数 ①	前年産との比較			最も大きい 割合の目幅 ③	10 a 当たり 収 量 ④	10 a 当たり 平年収量 ⑤	作況指数 ⑥=④/⑤
		対差	対比					
	ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全 国 (1)	1,462,000	△ 7,000	100	531	...	508	512	99
北 海 道 (2)	102,300	△ 700	99	581	1.90	557	524	106
青 森 (3)	45,200	200	100	628	1.90	600	570	105
岩 手 (4)	50,400	△ 100	100	553	1.90	527	514	103
宮 城 (5)	68,300	△ 100	100	552	1.90	527	515	102
秋 田 (6)	87,600	△ 200	100	602	1.90	566	541	105
山 形 (7)	64,700	200	100	622	1.90	592	568	104
福 島 (8)	65,300	△ 500	99	562	1.85	544	533	102
茨 城 (9)	67,800	△ 500	99	531	1.85	519	505	103
栃 木 (10)	59,200	0	100	538	1.85	520	515	101
群 馬 (11)	15,500	0	100	496	1.80	481	482	100
埼 玉 (12)	31,900	△ 100	100	496	1.80	487	477	102
千 葉 (13)	55,400	△ 600	99	537	1.80	528	534	99
東 京 (14)	124	△ 5	96	400	1.80	394	403	98
神 奈 川 (15)	2,990	△ 50	98	474	1.80	464	477	97
新 潟 (16)	119,500	300	100	558	1.85	542	527	103
富 山 (17)	37,100	△ 100	100	556	1.90	535	519	103
石 川 (18)	24,800	△ 200	99	530	1.85	515	509	101
福 井 (19)	25,100	0	100	518	1.90	482	486	99
山 梨 (20)	4,880	△ 10	100	529	1.80	516	532	97
長 野 (21)	31,800	△ 200	99	606	1.85	590	598	99
岐 阜 (22)	22,500	0	100	470	1.80	459	476	96
静 岡 (23)	15,500	△ 200	99	478	1.80	469	511	92
愛 知 (24)	27,400	△ 100	100	490	1.85	469	491	96
三 重 (25)	27,100	△ 200	99	479	1.85	458	479	96
滋 賀 (26)	31,100	△ 600	98	509	1.90	475	483	98
京 都 (27)	14,300	△ 100	99	501	1.85	484	494	98
大 阪 (28)	4,700	△ 150	97	472	1.80	448	479	94
兵 庫 (29)	36,500	△ 300	99	477	1.85	455	477	95
奈 良 (30)	8,480	△ 10	100	482	1.80	462	500	92
和 歌 山 (31)	6,250	△ 110	98	462	1.80	446	486	92
鳥 取 (32)	12,900	200	102	512	1.85	497	495	100
島 根 (33)	17,100	△ 200	99	511	1.90	476	483	99
岡 山 (34)	29,800	△ 300	99	505	1.85	475	501	95
広 島 (35)	22,600	△ 100	100	499	1.85	475	508	94
山 口 (36)	18,900	△ 400	98	386	1.85	350	481	73
徳 島 (37)	11,000	△ 300	97	476	1.80	464	462	100
早期栽培 (38)	4,260	△ 80	98	453	1.80	443	453	98
普通栽培 (39)	6,710	△ 230	97	492	1.80	478	467	102
香 川 (40)	11,700	△ 300	98	496	1.80	480	478	100
愛 媛 (41)	13,400	△ 200	99	474	1.85	429	469	91
高 知 (42)	11,300	△ 100	99	433	1.80	417	447	93
早期栽培 (43)	6,380	△ 60	99	454	1.80	442	472	94
普通栽培 (44)	4,950	△ 30	99	407	1.80	387	415	93
福 岡 (45)	34,900	△ 100	100	416	1.85	365	459	80
佐 賀 (46)	23,900	△ 200	99	436	1.85	394	488	81
長 崎 (47)	11,100	△ 300	97	422	1.80	397	464	86
熊 本 (48)	33,300	0	100	470	1.85	428	480	89
大 分 (49)	20,200	△ 400	98	403	1.80	369	477	77
宮 崎 (50)	16,000	△ 100	99	475	1.80	457	482	95
早期栽培 (51)	6,140	△ 160	97	469	1.80	459	470	98
普通栽培 (52)	9,870	90	101	479	1.80	457	490	93
鹿 児 島 (53)	19,300	△ 200	99	458	1.80	442	470	94
早期栽培 (54)	4,450	80	102	443	1.80	431	443	97
普通栽培 (55)	14,900	△ 300	98	462	1.80	444	478	93
沖 縄 (56)	650	△ 27	96	316	1.80	306	299	102
第一期稲 (57)	479	△ 27	95	367	1.80	359	351	102
第二期稲 (58)	171	0	100	175	1.80	155	146	106

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
2 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
3 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については、都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

収穫量（子実用）			参 考		
実 数 ⑦=①×②	前年産との比較		主 食 用 作 付 面 積 ⑧	収 穫 量 (主 食 用) ⑨=⑧×②	
	対差	対比			
t	t	%	ha	t	
7,763,000	1,000	100	1,366,000	7,225,000	(1)
594,400	6,300	101	95,300	553,700	(2)
283,900	1,700	101	38,300	240,500	(3)
278,700	△ 1,100	100	48,200	266,500	(4)
377,000	100	100	64,500	356,000	(5)
527,400	600	100	75,300	453,300	(6)
402,400	△ 2,000	100	56,500	351,400	(7)
367,000	△ 1,500	100	59,200	332,700	(8)
360,000	15,800	105	65,500	347,800	(9)
318,500	7,100	102	54,900	295,400	(10)
76,900	1,600	102	13,600	67,500	(11)
158,200	4,000	103	30,600	151,800	(12)
297,500	8,500	103	52,500	281,900	(13)
496	△ 23	96	124	496	(14)
14,200	△ 100	99	2,990	14,200	(15)
666,800	20,700	103	106,700	595,400	(16)
206,300	600	100	33,200	184,600	(17)
131,400	△ 1,600	99	22,600	119,800	(18)
130,000	△ 500	100	23,300	120,700	(19)
25,800	△ 700	97	4,800	25,400	(20)
192,700	△ 5,700	97	30,700	186,000	(21)
105,800	△ 2,700	98	21,400	100,600	(22)
74,100	△ 7,100	91	15,400	73,600	(23)
134,300	△ 2,900	98	26,400	129,400	(24)
129,800	△ 400	100	26,700	127,900	(25)
158,300	△ 3,100	98	29,700	151,200	(26)
71,600	△ 1,100	98	13,800	69,100	(27)
22,200	△ 2,100	91	4,700	22,200	(28)
174,100	△ 8,800	95	34,800	166,000	(29)
40,900	△ 2,800	94	8,430	40,600	(30)
28,900	△ 2,500	92	6,250	28,900	(31)
66,000	700	101	12,800	65,500	(32)
87,400	△ 100	100	16,800	85,800	(33)
150,500	△ 5,100	97	28,900	145,900	(34)
112,800	△ 500	100	22,000	109,800	(35)
73,000	△ 18,500	80	17,800	68,700	(36)
52,400	0	100	10,700	50,900	(37)
19,300	△ 500	97	(38)
33,000	400	101	(39)
58,000	1,500	103	11,600	57,500	(40)
63,500	△ 400	99	13,300	63,000	(41)
48,900	1,000	102	11,200	48,500	(42)
29,000	△ 300	99	(43)
20,100	1,400	107	(44)
145,200	△ 13,700	91	34,400	143,100	(45)
104,200	32,400	145	23,400	102,000	(46)
46,800	△ 5,100	90	11,000	46,400	(47)
156,500	△ 4,300	97	32,300	151,800	(48)
81,400	△ 8,200	91	20,000	80,600	(49)
76,000	1,100	101	14,300	67,900	(50)
28,800	△ 100	100	(51)
47,300	1,400	103	(52)
88,400	△ 100	100	17,800	81,500	(53)
19,700	600	103	(54)
68,800	△ 800	99	(55)
2,050	50	103	630	1,990	(56)
1,760	90	105	(57)
299	△ 22	93	(58)

4 (参考) 農家等が使用しているふるい目幅で選別の④10a 当たり収量、⑤10a 当たり年収量及び⑥作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

2 令和2年産水稻の収量構成要素（水稻作況標本筆調査成績）

全 都 道 府 県	1㎡当たり 株数		1株当たり 有効穂数		1㎡当たり 有効穂数		1穂当たり 実み		1㎡当たり 全実み		千もみ 当たり収量	
	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比	本 年	対平 年比
	株	%	本	%	本	%	粒	%	百粒	%	g	%
全 国 (1)	17.2	99	23.1	100	397	99	76.8	103	305	102	17.9	98
北 海 道 (2)	21.9	99	24.6	98	538	96	64.5	107	347	103	17.2	102
青 森 (3)	19.6	100	22.6	106	442	105	81.2	101	359	107	17.9	99
岩 手 (4)	17.4	99	25.9	106	450	104	67.1	101	302	105	18.7	98
宮 城 (5)	17.2	101	26.0	99	448	100	67.9	103	304	102	18.6	100
秋 田 (6)	18.8	99	23.7	106	445	105	73.3	100	326	104	18.8	100
山 形 (7)	19.3	99	26.4	108	509	108	66.8	99	340	106	18.7	98
福 島 (8)	16.8	97	24.0	105	404	102	77.0	102	311	103	18.5	99
茨 城 (9)	15.7	98	24.1	101	378	98	81.0	101	306	99	17.7	102
栃 木 (10)	17.1	99	20.8	99	356	99	87.6	103	312	102	17.6	98
群 馬 (11)	16.5	97	20.5	95	338	93	85.2	105	288	98	17.5	101
埼 玉 (12)	16.1	99	22.8	100	367	98	80.9	104	297	102	17.4	101
千 葉 (13)	15.9	99	24.2	100	384	99	81.5	103	313	102	17.5	97
東 京 (14)	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc
神 奈 川 (15)	16.9	98	18.5	94	312	92	83.3	102	260	94	18.5	102
新 潟 (16)	16.8	100	22.1	97	372	98	83.3	108	310	105	18.6	98
富 山 (17)	19.7	105	19.1	98	377	104	76.7	99	289	102	19.7	99
石 川 (18)	17.9	102	21.7	98	388	99	74.0	100	287	99	18.8	102
福 井 (19)	17.5	99	22.9	101	400	100	73.5	102	294	101	18.0	98
山 梨 (20)	16.6	97	22.7	98	377	95	78.0	103	294	97	18.2	99
長 野 (21)	17.7	98	22.6	97	400	95	83.0	106	332	101	18.6	97
岐 阜 (22)	15.6	97	21.9	98	341	95	77.4	104	264	99	18.2	98
静 岡 (23)	17.2	98	20.4	96	351	94	82.1	108	288	102	17.1	91
愛 知 (24)	16.8	98	21.3	96	358	94	77.9	104	279	98	18.0	99
三 重 (25)	16.1	100	21.9	94	352	94	78.7	103	277	97	17.8	99
滋 賀 (26)	16.8	101	21.3	94	357	94	81.5	102	291	96	17.8	102
京 都 (27)	16.5	100	20.2	97	334	97	84.1	103	281	100	18.1	98
大 阪 (28)	15.0	94	23.3	104	349	98	82.8	103	289	101	16.5	94
兵 庫 (29)	15.4	96	20.6	98	317	94	83.9	105	266	99	18.3	96
奈 良 (30)	15.6	96	22.1	100	344	96	86.0	105	296	101	16.6	93
和 歌 山 (31)	15.6	96	21.5	96	335	93	81.5	104	273	96	17.3	98
鳥 取 (32)	16.1	99	22.6	103	364	101	75.8	100	276	101	19.1	99
島 根 (33)	16.4	99	21.2	100	347	99	84.1	105	292	104	17.8	96
岡 山 (34)	15.1	97	22.5	100	340	97	84.1	104	286	101	18.1	96
広 島 (35)	15.1	96	23.0	101	348	97	81.9	103	285	99	17.9	95
山 口 (36)	16.3	99	21.3	98	348	97	79.9	103	278	99	15.0	82
徳 島 (37)	15.2	96	24.6	104	374	100	77.3	101	289	101	16.7	99
香 川 (38)	15.4	96	23.2	97	357	93	80.4	107	287	100	17.7	101
愛 媛 (39)	15.0	99	23.8	100	357	99	81.8	104	292	103	16.6	93
高 知 (40)	14.3	97	24.7	102	353	99	74.8	104	264	103	16.7	91
福 岡 (41)	16.3	100	21.0	91	342	91	81.6	104	279	95	15.6	91
佐 賀 (42)	16.5	97	22.0	91	363	88	79.3	106	288	93	15.8	92
長 崎 (43)	16.3	99	20.7	90	338	89	80.5	105	272	93	16.1	94
熊 本 (44)	15.3	99	24.2	96	371	95	82.5	107	306	102	15.8	90
大 分 (45)	15.0	97	22.3	95	334	92	85.3	105	285	97	14.7	84
宮 崎 (46)	16.3	98	23.2	97	378	95	77.0	107	291	101	16.6	94
鹿 児 島 (47)	17.4	98	20.2	93	352	92	78.4	107	276	98	17.1	97
沖 縄 (48)	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc

注：1 対平年比とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1㎡当たり株数等）の平年値との対比である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県については、作期別（早期栽培・普通栽培）の平均値である。

3 東京都及び沖縄県については、水稻作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。

粗粒		玄米歩合		玄米歩合		玄米歩合		10a当たり玄米重		玄米歩合		10a当たり玄米重		
本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	
%	%	%	%	g	%	kg	%	%	%	kg	%			
88.5	100	95.9	100	21.0	97	557	99	97.8	100	545	100	(1)		
81.6	101	96.5	101	21.9	101	608	105	98.4	101	598	105	(2)		
85.5	100	96.7	101	21.6	98	653	105	98.3	100	642	105	(3)		
91.7	101	96.4	100	21.2	97	575	103	98.3	100	565	103	(4)		
91.1	102	97.5	101	20.9	96	571	101	98.8	101	564	102	(5)		
90.8	102	97.0	101	21.4	98	625	104	98.2	100	614	104	(6)		
91.5	100	97.4	102	21.0	97	646	104	98.6	101	637	104	(7)		
90.0	101	96.1	101	21.4	97	587	102	98.0	100	575	102	(8)		
89.9	102	97.5	102	20.3	99	550	100	98.7	101	543	101	(9)		
90.7	99	96.8	102	20.0	96	559	99	98.2	101	549	99	(10)		
90.6	104	94.6	103	20.4	95	523	98	96.6	101	505	99	(11)		
90.2	101	96.6	103	20.0	97	528	102	97.9	102	517	103	(12)		
86.9	98	96.7	101	20.8	98	556	98	98.4	101	547	99	(13)		
...	nc	...	nc	...	nc	...	nc	...	nc	...	nc	(14)		
90.0	99	95.7	103	21.5	100	491	94	98.0	102	481	96	(15)		
91.6	100	96.5	101	21.0	97	586	103	98.3	101	576	103	(16)		
92.7	101	97.8	101	21.7	99	574	102	99.0	100	568	102	(17)		
89.5	103	97.3	101	21.6	99	548	101	98.5	100	540	101	(18)		
89.8	100	95.5	101	21.0	98	544	100	97.4	100	530	100	(19)		
89.8	99	97.0	102	20.9	99	544	96	98.3	101	535	97	(20)		
92.5	101	97.1	101	20.7	95	628	97	98.4	101	618	98	(21)		
86.0	101	96.0	100	22.0	96	490	97	98.0	100	480	97	(22)		
85.1	96	96.3	99	20.8	95	502	93	98.0	100	492	93	(23)		
86.0	100	96.3	100	21.7	99	511	97	98.2	100	502	97	(24)		
87.7	100	96.3	101	21.1	99	504	97	98.0	100	494	97	(25)		
87.3	102	96.5	102	21.1	98	527	97	98.3	101	518	98	(26)		
89.3	100	95.2	100	21.3	98	518	97	98.3	101	509	98	(27)		
89.3	100	93.4	100	19.8	94	500	96	95.6	99	478	95	(28)		
92.5	102	94.7	100	20.9	95	503	95	97.0	100	488	95	(29)		
87.5	101	93.8	98	20.2	94	512	95	95.7	99	490	94	(30)		
87.2	101	95.0	101	20.9	95	488	93	96.9	100	473	94	(31)		
91.3	102	96.8	101	21.6	96	535	100	98.5	101	527	101	(32)		
88.7	100	96.9	101	20.7	95	530	99	98.1	100	520	99	(33)		
89.2	99	95.3	100	21.3	96	531	97	97.4	100	517	96	(34)		
89.1	101	96.9	100	20.8	94	521	94	98.1	100	511	94	(35)		
81.3	91	91.2	96	20.2	94	441	83	94.3	97	416	81	(36)		
82.7	99	95.4	100	21.2	101	495	100	97.8	100	484	100	(37)		
89.2	98	92.2	100	21.6	102	532	100	95.7	101	509	101	(38)		
88.7	99	92.3	98	20.3	96	508	97	95.5	99	485	95	(39)		
84.8	95	93.8	98	21.0	99	457	95	96.7	99	442	94	(40)		
82.4	95	92.2	99	20.5	96	457	86	95.0	99	434	85	(41)		
82.3	96	90.3	98	21.2	98	480	87	94.6	99	454	85	(42)		
85.7	100	90.6	96	20.8	98	466	90	94.2	98	439	88	(43)		
82.7	94	92.5	99	20.6	98	505	93	95.6	99	483	92	(44)		
81.1	93	90.9	97	19.9	94	443	83	94.4	98	418	82	(45)		
86.6	99	92.1	97	20.9	99	506	97	95.7	99	484	96	(46)		
85.1	98	94.9	99	21.1	99	485	95	97.1	100	471	95	(47)		
...	nc	...	nc	...	nc	...	nc	...	nc	...	nc	(48)		

4 千もみ当たり収量、玄米千粒重及び10a当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況

全 都 道 府 県	国	ふるい目幅別重量分布状況						
		計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以 上
		%	%	%	%	%	%	%
全 国 (1)		100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
北 海 道 (2)		100.0	0.5	0.8	1.1	1.7	9.9	86.0
青 森 (3)		100.0	0.5	0.9	1.3	1.8	10.4	85.1
岩 手 (4)		100.0	0.5	0.8	1.4	2.0	9.3	86.0
宮 城 (5)		100.0	0.3	0.9	1.2	2.1	14.0	81.5
秋 田 (6)		100.0	0.4	1.2	1.7	2.7	9.7	84.3
山 形 (7)		100.0	0.4	1.0	1.2	2.3	12.6	82.5
福 島 (8)		100.0	0.4	1.2	1.6	2.5	13.1	81.2
茨 城 (9)		100.0	0.5	0.8	0.9	2.1	14.1	81.6
栃 木 (10)		100.0	0.6	1.0	1.7	2.4	17.3	77.0
群 馬 (11)		100.0	1.2	1.9	3.2	4.2	21.9	67.6
埼 玉 (12)		100.0	0.7	1.2	1.8	2.9	19.9	73.5
千 葉 (13)		100.0	0.7	0.9	1.5	2.4	15.7	78.8
東 京 (14)		100.0	0.6	1.0	1.6	2.4	15.2	79.2
神 奈 川 (15)		100.0	0.8	1.4	1.7	2.6	15.1	78.4
新 潟 (16)		100.0	0.5	1.0	1.4	2.1	12.4	82.6
富 山 (17)		100.0	0.4	0.7	0.9	1.8	9.9	86.3
石 川 (18)		100.0	0.6	1.0	1.2	1.9	10.6	84.7
福 井 (19)		100.0	0.9	1.4	1.8	2.9	14.5	78.5
山 梨 (20)		100.0	0.9	1.5	1.7	3.0	15.9	77.0
長 野 (21)		100.0	0.5	1.0	1.1	2.1	13.2	82.1
岐 阜 (22)		100.0	0.9	1.4	1.9	2.5	12.9	80.4
静 岡 (23)		100.0	0.7	1.1	2.0	3.0	16.5	76.7
愛 知 (24)		100.0	0.8	1.3	2.2	3.1	10.9	81.7
三 重 (25)		100.0	0.9	1.4	2.0	1.7	9.5	84.5
滋 賀 (26)		100.0	0.9	1.5	1.8	2.4	11.4	82.0
京 都 (27)		100.0	0.8	1.1	1.4	2.2	10.1	84.4
大 阪 (28)		100.0	1.7	3.4	5.6	6.8	23.0	59.5
兵 庫 (29)		100.0	0.9	1.8	1.9	3.2	16.0	76.2
奈 良 (30)		100.0	1.3	2.9	3.5	4.7	19.3	68.3
和 歌 山 (31)		100.0	1.2	2.2	2.6	3.1	15.8	75.1
鳥 取 (32)		100.0	0.5	1.2	1.3	2.3	11.2	83.5
島 根 (33)		100.0	0.7	1.3	2.1	2.7	15.0	78.2
岡 山 (34)		100.0	1.0	1.8	3.2	3.9	17.6	72.5
広 島 (35)		100.0	0.9	1.9	2.1	3.0	14.8	77.3
山 口 (36)		100.0	1.9	3.4	3.9	7.1	24.6	59.1
徳 島 (37)		100.0	0.9	1.7	2.4	2.4	13.8	78.8
早 期 栽 培 (38)		100.0	0.8	1.4	1.8	2.0	11.1	82.9
普 通 栽 培 (39)		100.0	1.0	1.8	2.7	2.7	15.4	76.4
香 川 (40)		100.0	1.3	2.0	2.9	3.7	21.1	69.0
愛 媛 (41)		100.0	1.9	3.5	4.0	5.8	22.3	62.5
高 知 (42)		100.0	1.3	2.3	2.9	3.3	17.3	72.9
早 期 栽 培 (43)		100.0	1.0	1.7	2.2	2.8	16.8	75.5
普 通 栽 培 (44)		100.0	1.7	3.1	3.9	4.1	18.1	69.1
福 岡 (45)		100.0	2.5	4.4	5.3	7.9	26.6	53.3
佐 賀 (46)		100.0	2.3	3.5	3.9	6.4	26.0	57.9
長 崎 (47)		100.0	1.9	4.0	4.5	8.5	29.7	51.4
熊 本 (48)		100.0	1.8	3.4	3.7	5.9	25.9	59.3
大 分 (49)		100.0	2.9	5.5	6.5	9.6	31.2	44.3
宮 崎 (50)		100.0	1.3	2.4	3.6	4.9	23.1	64.7
早 期 栽 培 (51)		100.0	0.8	1.3	1.5	2.3	14.9	79.2
普 通 栽 培 (52)		100.0	1.6	3.0	4.9	6.5	28.1	55.9
鹿 児 島 (53)		100.0	1.2	2.3	3.8	4.8	24.3	63.6
早 期 栽 培 (54)		100.0	1.0	1.8	3.3	4.6	25.4	63.9
普 通 栽 培 (55)		100.0	1.3	2.5	4.0	4.9	24.0	63.3
沖 縄 (56)		100.0	0.3	0.6	1.1	1.5	10.0	86.5

注：対平均差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値である。

対平均差							
1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ~1.80	1.80 ~1.85	1.85 ~1.90	1.90 ~2.00	2.00mm 以 上		
ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント		
△ 0.1	0.0	△ 0.1	0.1	△ 1.3	1.4	(1)	
△ 0.1	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 1.2	1.8	(2)	
△ 0.1	△ 0.1	0.0	0.0	△ 0.3	0.5	(3)	
△ 0.1	△ 0.2	0.0	0.1	△ 2.6	2.8	(4)	
△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 1.0	2.5	(5)	
△ 0.2	0.0	△ 0.1	0.4	△ 3.5	3.4	(6)	
△ 0.2	0.0	△ 0.3	△ 0.6	△ 2.3	3.4	(7)	
△ 0.1	△ 0.3	△ 0.3	0.1	△ 0.3	0.9	(8)	
△ 0.4	△ 0.8	△ 0.9	△ 1.2	△ 5.3	8.6	(9)	
△ 0.4	△ 0.5	△ 0.9	△ 1.0	△ 5.5	8.3	(10)	
△ 0.4	0.0	△ 0.7	△ 2.2	△ 3.6	6.9	(11)	
△ 0.5	△ 0.8	△ 1.3	△ 1.8	△ 7.0	11.4	(12)	
△ 0.2	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.4	△ 1.8	3.4	(13)	
△ 0.4	△ 0.5	△ 1.1	△ 1.8	△ 3.6	7.4	(14)	
△ 1.0	△ 0.8	△ 1.5	△ 2.6	△ 5.6	11.5	(15)	
△ 0.1	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.5	△ 2.3	3.5	(16)	
△ 0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.6	△ 5.3	6.7	(17)	
0.1	0.2	0.0	0.0	△ 0.9	0.6	(18)	
0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.2	0.1	△ 0.1	(19)	
△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.6	△ 1.3	2.5	(20)	
△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.1	0.8	0.1	(21)	
0.1	0.1	0.1	0.3	1.5	△ 2.1	(22)	
0.1	0.0	0.2	0.4	1.5	△ 2.2	(23)	
0.1	0.2	0.5	0.9	△ 1.4	△ 0.3	(24)	
0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.8	△ 3.7	4.7	(25)	
0.1	0.1	△ 0.1	0.1	△ 1.8	1.6	(26)	
0.1	△ 0.2	△ 0.1	0.3	0.0	△ 0.1	(27)	
0.4	1.3	2.0	2.1	3.2	△ 9.0	(28)	
0.0	0.2	△ 0.1	0.4	1.2	△ 1.7	(29)	
0.5	1.0	1.3	1.6	4.0	△ 8.4	(30)	
0.3	0.7	0.7	0.8	2.6	△ 5.1	(31)	
△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	0.1	0.5	△ 0.1	(32)	
0.1	0.2	0.4	0.8	3.9	△ 5.4	(33)	
0.1	0.3	0.6	0.8	1.8	△ 3.6	(34)	
0.3	0.6	0.5	1.0	2.6	△ 5.0	(35)	
1.0	2.0	1.6	4.3	9.5	△ 18.4	(36)	
0.0	0.2	0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1	(37)	
0.1	0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 2.1	2.3	(38)	
0.1	0.2	0.3	△ 0.1	0.9	△ 1.4	(39)	
0.1	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.6	△ 2.3	3.5	(40)	
0.7	1.5	1.2	1.7	3.3	△ 8.4	(41)	
0.4	0.9	1.1	0.6	3.6	△ 6.6	(42)	
0.3	0.6	0.9	0.8	5.1	△ 7.7	(43)	
0.5	1.2	1.4	0.5	1.4	△ 5.0	(44)	
1.1	1.6	1.5	3.5	3.9	△ 11.6	(45)	
1.1	1.5	1.1	2.9	7.3	△ 13.9	(46)	
0.6	1.3	1.0	3.0	3.7	△ 9.6	(47)	
0.6	1.1	0.7	1.4	3.6	△ 7.4	(48)	
1.2	2.3	2.3	2.8	2.7	△ 11.3	(49)	
0.2	0.6	0.6	0.4	△ 1.0	△ 0.8	(50)	
0.1	0.1	△ 0.1	△ 0.4	△ 3.7	4.0	(51)	
0.3	0.8	1.0	0.9	0.6	△ 3.6	(52)	
0.1	0.3	0.7	0.6	2.5	△ 4.2	(53)	
0.1	0.2	0.5	0.7	2.0	△ 3.5	(54)	
0.2	0.4	0.7	0.6	2.6	△ 4.5	(55)	
△ 0.4	△ 0.8	△ 0.9	△ 1.4	△ 3.5	7.0	(56)	

4 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別10a当たり収量

単位：kg

全 国 都道府県	1.70mm 以 上	1.75mm 以 上	1.80mm 以 上	1.85mm 以 上	1.90mm 以 上	
					1.90mm 以 上	2.00mm 以 上
全 国	531	527	520	510	494	418
北 海 道	581	578	573	567	557	500
青 森	628	625	619	611	600	534
岩 手	553	550	546	538	527	476
宮 城	552	550	545	539	527	450
秋 田	602	600	592	582	566	507
山 形	622	620	613	606	592	513
福 島	562	560	553	544	530	456
茨 城	531	528	524	519	508	433
栃 木	538	535	529	520	507	414
群 馬	496	490	481	465	444	335
埼 玉	496	493	487	478	463	365
千 葉	537	533	528	520	507	423
東 京	400	398	394	387	378	317
神 奈 川	474	470	464	456	443	372
新 潟	558	555	550	542	530	461
富 山	556	554	550	545	535	480
石 川	530	527	522	515	505	449
福 井	518	513	506	497	482	407
山 梨	529	524	516	507	491	407
長 野	606	603	597	590	578	498
岐 阜	470	466	459	450	439	378
静 岡	478	475	469	460	445	367
愛 知	490	486	480	469	454	400
三 重	479	475	468	458	450	405
滋 賀	509	504	497	488	475	417
京 都	501	497	491	484	473	423
大 阪	472	464	448	421	389	281
兵 庫	477	473	464	455	440	363
奈 良	482	476	462	445	422	329
和 歌 山	462	456	446	434	420	347
鳥 取	512	509	503	497	485	428
島 根	511	507	501	490	476	400
岡 山	505	500	491	475	455	366
広 島	499	495	485	475	460	386
山 口	386	379	366	350	323	228
徳 島	476	472	464	452	441	375
早 期 栽 培	453	449	443	435	426	376
普 通 栽 培	492	487	478	465	452	376
香 川	496	490	480	465	447	342
愛 媛	474	465	448	429	402	296
高 知	433	427	417	405	391	316
早 期 栽 培	454	449	442	432	419	343
普 通 栽 培	407	400	387	372	355	281
福 岡	416	406	387	365	332	222
佐 賀	436	426	411	394	366	252
長 崎	422	414	397	378	342	217
熊 本	470	462	446	428	400	279
大 分	403	391	369	343	304	179
宮 崎	475	469	457	440	417	307
早 期 栽 培	469	465	459	452	441	371
普 通 栽 培	479	471	457	433	402	268
鹿 児 島	458	453	442	425	403	291
早 期 栽 培	443	439	431	416	396	283
普 通 栽 培	462	456	444	426	403	292
沖 縄	316	315	313	310	305	273

注：ふるい目幅別の10a当たり収量とは、10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

5 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）

単位：t

全 国 都道府県						
	1.70mm 以上	1.75mm 以上	1.80mm 以上	1.85mm 以上	1.90mm 以上	2.00mm 以上
全 国	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
北海道	594,400	591,400	586,700	580,100	570,000	511,200
青森	283,900	282,500	279,900	276,200	271,100	241,600
岩手	278,700	277,300	275,100	271,200	265,600	239,700
宮城	377,000	375,900	372,500	368,000	360,000	307,300
秋田	527,400	525,300	519,000	510,000	495,800	444,600
山形	402,400	400,800	396,800	391,900	382,700	332,000
福島	367,000	365,500	361,100	355,300	346,100	298,000
茨城	360,000	358,200	355,300	352,100	344,500	293,800
栃木	318,500	316,600	313,400	308,000	300,300	245,200
群馬	76,900	76,000	74,500	72,100	68,800	52,000
埼玉	158,200	157,100	155,200	152,300	147,800	116,300
千葉	297,500	295,400	292,700	288,300	281,100	234,400
東京都	496	493	488	480	468	393
神奈川県	14,200	14,100	13,900	13,600	13,300	11,100
新潟	666,800	663,500	656,800	647,500	633,500	550,800
富山	206,300	205,500	204,000	202,200	198,500	178,000
石川	131,400	130,600	129,300	127,700	125,200	111,300
福井	130,000	128,800	127,000	124,700	120,900	102,100
山梨	25,800	25,600	25,200	24,700	24,000	19,900
長野	192,700	191,700	189,800	187,700	183,600	158,200
岐阜	105,800	104,800	103,400	101,400	98,700	85,100
静岡県	74,100	73,600	72,800	71,300	69,100	56,800
愛知県	134,300	133,200	131,500	128,500	124,400	109,700
三重	129,800	128,600	126,800	124,200	122,000	109,700
滋賀	158,300	156,900	154,500	151,700	147,900	129,800
京都	71,600	71,000	70,200	69,200	67,700	60,400
大阪	22,200	21,800	21,100	19,800	18,300	13,200
兵庫県	174,100	172,500	169,400	166,100	160,500	132,700
奈良	40,900	40,400	39,200	37,800	35,800	27,900
和歌山	28,900	28,600	27,900	27,200	26,300	21,700
鳥取	66,000	65,700	64,900	64,000	62,500	55,100
島根	87,400	86,800	85,700	83,800	81,500	68,300
岡山	150,500	149,000	146,300	141,500	135,600	109,100
広島	112,800	111,800	109,600	107,300	103,900	87,200
山口	73,000	71,600	69,100	66,300	61,100	43,100
徳島	52,400	51,900	51,000	49,800	48,500	41,300
早期栽培	19,300	19,100	18,900	18,500	18,100	16,000
普通栽培	33,000	32,700	32,100	31,200	30,300	25,200
香川	58,000	57,200	56,100	54,400	52,300	40,000
愛媛	63,500	62,300	60,100	57,500	53,800	39,700
高知	48,900	48,300	47,100	45,700	44,100	35,600
早期栽培	29,000	28,700	28,200	27,600	26,800	21,900
普通栽培	20,100	19,800	19,100	18,400	17,500	13,900
福岡	145,200	141,600	135,200	127,500	116,000	77,400
佐賀	104,200	101,800	98,200	94,100	87,400	60,300
長崎	46,800	45,900	44,000	41,900	38,000	24,100
熊本	156,500	153,700	148,400	142,600	133,300	92,800
大分	81,400	79,000	74,600	69,300	61,500	36,100
宮崎	76,000	75,000	73,200	70,500	66,700	49,200
早期栽培	28,800	28,600	28,200	27,800	27,100	22,800
普通栽培	47,300	46,500	45,100	42,800	39,700	26,400
鹿児島	88,400	87,300	85,300	81,900	77,700	56,200
早期栽培	19,700	19,500	19,100	18,500	17,600	12,600
普通栽培	68,800	67,900	66,200	63,400	60,100	43,600
沖縄	2,050	2,040	2,030	2,010	1,980	1,770

注：ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

6 水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布
【令和2年産水稲作況標本（基準）筆農家からの聞取り結果】

単位：％

全 国 都 道 府 県	計	1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
全 国	100.0	0.1	2.3	24.8	37.6	34.5	0.7
北 海 道	100.0	-	-	-	19.2	77.9	2.9
青 森	100.0	-	-	-	0.9	99.1	-
岩 手	100.0	-	0.3	0.6	2.4	96.7	-
宮 城	100.0	-	-	-	4.4	95.6	-
秋 田	100.0	-	-	0.9	17.5	81.0	0.6
山 形	100.0	-	-	0.3	15.9	83.2	0.6
福 島	100.0	-	-	2.6	59.0	38.4	-
茨 城	100.0	-	0.4	15.8	82.3	1.5	-
栃 木	100.0	-	-	6.0	93.0	1.0	-
群 馬	100.0	0.8	5.4	87.5	4.7	0.8	0.8
埼 玉	100.0	-	30.2	61.6	7.7	0.5	-
千 葉	100.0	-	2.5	87.4	8.7	0.7	0.7
東 京	100.0	-	50.0	50.0	-	-	-
神 奈 川	100.0	-	12.1	81.9	3.0	3.0	-
新 潟	100.0	0.2	0.5	2.6	63.9	30.0	2.8
富 山	100.0	-	-	0.9	9.5	87.3	2.3
石 川	100.0	-	-	0.4	46.2	53.4	-
福 井	100.0	-	-	1.3	2.1	96.6	-
山 梨	100.0	-	7.0	37.2	55.8	-	-
長 野	100.0	-	-	10.4	79.3	9.2	1.1
岐 阜	100.0	0.6	1.1	46.4	49.7	1.1	1.1
静 岡	100.0	-	8.4	37.1	53.3	0.6	0.6
愛 知	100.0	-	0.5	7.8	63.0	28.7	-
三 重	100.0	-	-	17.5	76.6	5.5	0.4
滋 賀	100.0	-	0.5	10.6	39.6	49.3	-
京 都	100.0	-	-	28.9	51.9	19.2	-
大 阪	100.0	1.5	23.9	67.1	6.0	1.5	-
兵 庫	100.0	0.4	4.7	42.3	42.7	3.0	6.9
奈 良	100.0	1.9	5.7	74.3	18.1	-	-
和 歌 山	100.0	-	34.6	63.5	-	1.9	-
鳥 取	100.0	0.8	0.8	3.3	93.5	1.6	-
島 根	100.0	-	0.5	2.0	9.6	87.4	0.5
岡 山	100.0	-	0.4	44.5	53.5	0.4	1.2
広 島	100.0	-	0.5	25.9	70.7	2.9	-
山 口	100.0	0.5	-	1.1	79.5	18.9	-
徳 島	100.0	0.6	14.2	76.2	9.0	-	-
香 川	100.0	-	8.1	82.5	9.4	-	-
愛 媛	100.0	-	1.3	55.5	42.6	0.6	-
高 知	100.0	-	0.7	88.0	11.3	-	-
福 岡	100.0	-	-	17.0	81.5	1.5	-
佐 賀	100.0	-	-	0.5	59.6	39.4	0.5
長 崎	100.0	2.2	8.8	56.0	27.5	5.5	-
熊 本	100.0	0.4	1.1	47.4	51.1	-	-
大 分	100.0	-	1.0	39.3	59.7	-	-
宮 崎	100.0	-	-	99.5	0.5	-	-
鹿 児 島	100.0	-	-	97.6	2.4	-	-
沖 縄	100.0	-	16.7	83.3	-	-	-

注：農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稲作況標本（基準）筆農家を使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

7 令和2年産水稻の作況標本筆の10a 当たり玄米重の分布状況

単位:%

全 国 ・ 都道府県	計	100kg未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700 ～800	800kg以上
全 国	100.0	0.4	0.7	2.0	8.1	25.0	39.0	21.0	3.6	0.2
北 海 道	100.0	-	-	0.2	0.7	12.8	37.2	44.1	5.0	-
青 森	100.0	-	0.3	0.3	2.4	5.8	23.7	39.9	25.5	2.1
岩 手	100.0	-	0.6	1.5	3.5	13.2	46.5	33.5	1.2	-
宮 城	100.0	-	-	0.3	3.6	13.9	49.8	31.8	0.6	-
秋 田	100.0	-	-	-	1.3	8.1	27.8	50.9	11.9	-
山 形	100.0	-	-	0.3	1.6	5.0	25.0	45.9	20.3	1.9
福 島	100.0	-	-	-	2.0	13.3	49.9	28.0	6.5	0.3
茨 城	100.0	-	-	0.4	3.2	19.6	60.0	16.1	0.7	-
栃 木	100.0	-	-	0.4	2.9	21.4	51.0	21.8	2.5	-
群 馬	100.0	-	-	-	13.6	39.3	27.1	19.3	0.7	-
埼 玉	100.0	-	-	2.2	13.3	29.4	39.5	15.0	0.6	-
千 葉	100.0	-	0.4	0.4	5.0	19.3	49.5	23.9	1.5	-
東 京	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
神 奈 川	100.0	-	-	1.7	16.7	36.7	36.5	6.7	1.7	-
新 潟	100.0	0.2	-	0.2	1.6	12.3	48.0	35.0	2.5	0.2
富 山	100.0	0.5	-	0.5	0.9	16.8	44.5	34.5	2.3	-
石 川	100.0	-	-	-	3.2	24.1	53.6	18.6	0.5	-
福 井	100.0	-	-	-	4.8	25.8	56.7	12.7	-	-
山 梨	100.0	-	-	2.5	8.8	21.3	42.4	17.5	7.5	-
長 野	100.0	-	0.4	0.4	2.6	6.9	28.1	44.0	16.1	1.5
岐 阜	100.0	-	0.5	1.1	15.2	38.7	35.3	9.2	-	-
静 岡	100.0	-	-	0.6	15.0	38.1	36.9	9.4	-	-
愛 知	100.0	-	-	1.4	5.7	37.1	47.7	8.1	-	-
三 重	100.0	-	0.9	1.7	12.6	37.8	37.4	8.3	1.3	-
滋 賀	100.0	-	0.5	0.5	5.2	31.0	49.0	13.3	0.5	-
京 都	100.0	-	0.7	2.1	4.3	35.0	45.8	12.1	-	-
大 阪	100.0	-	-	2.0	16.0	38.0	38.0	6.0	-	-
兵 庫	100.0	-	-	1.7	9.6	45.7	37.8	5.2	-	-
奈 良	100.0	-	-	3.0	11.0	38.0	37.0	11.0	-	-
和 歌 山	100.0	-	2.0	5.0	13.0	41.0	33.0	5.0	1.0	-
鳥 取	100.0	-	-	4.0	8.7	23.5	39.0	22.8	2.0	-
島 根	100.0	-	-	0.5	10.3	28.7	45.1	12.3	3.1	-
岡 山	100.0	-	0.8	2.9	7.5	31.7	39.1	16.7	1.3	-
広 島	100.0	0.5	0.5	2.7	12.3	30.0	32.7	17.7	2.7	0.9
山 口	100.0	6.7	7.8	8.3	17.8	30.4	25.6	2.8	0.6	-
徳 島	100.0	-	2.0	3.3	12.0	38.0	34.0	10.7	-	-
香 川	100.0	0.7	-	-	14.0	32.0	38.6	12.0	2.7	-
愛 媛	100.0	-	1.3	4.0	15.3	34.7	36.0	8.0	0.7	-
高 知	100.0	0.6	0.6	6.9	20.6	43.1	26.3	1.9	-	-
福 岡	100.0	3.8	0.8	6.2	22.7	41.9	20.8	3.8	-	-
佐 賀	100.0	1.0	2.9	5.7	19.0	37.1	31.0	3.3	-	-
長 崎	100.0	3.4	6.8	8.1	10.8	37.1	29.7	4.1	-	-
熊 本	100.0	0.4	1.1	7.9	12.6	30.0	39.3	8.3	0.4	-
大 分	100.0	2.2	3.8	11.5	27.3	27.3	23.0	3.8	1.1	-
宮 崎	100.0	0.5	0.5	1.9	14.3	39.9	34.8	7.6	0.5	-
鹿 児 島	100.0	0.5	1.5	4.5	14.5	40.0	37.5	1.5	-	-
沖 縄	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

注：1 10a 当たり玄米重は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 東京都及び沖縄県については、水稻作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。

8 令和2年産水稻の作柄表示地帯別作況指数

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数		
北海道 (106)	狩知	106	群馬 (100)	中毛	100		
	南空	106		北毛	102		
	北空	107		東毛	99		
	上川	107	埼玉 (102)	東西部	102		
	留萌	107		西部	101		
	渡島	102		千葉 (99)	京葉	100	
	檜山	102			九十九里	99	
	後志	103	南房総		97		
	胆振	108	東京 (98)	-	98		
	日高	108		神奈川 (97)	-	97	
オホーツク・十勝	107	新潟 (103)			岩船	102	
青森 (105)	青森				105	下越北	100
	津軽			105	下越南	101	
	南部・下北			105	中越	102	
	岩手 (103)	北上川上流		103	中魚沼	107	
		北上川下流		102	上越	107	
東部		104		佐渡	100		
北部		104		富山 (103)	-	103	
宮城 (102)	南部	102	石川 (101)		加賀	101	
	中部	102			能登	101	
	北東部	103	福井 (99)	嶺北	99		
秋田 (105)	県中	104		嶺南	100		
	県南	105		山梨 (97)	-	97	
	山形 (104)	村山	104		長野 (99)	東南	97
		最上	102			信信	99
置賜		103	中北			99	
庄内	105	岐阜 (96)	西濃	96			
福島 (102)	中通り		102	中濃	95		
	浜通り		103	東濃	98		
	会津	102	飛騨	99			
茨城 (103)	北部	103	静岡 (92)	東西部	90		
	鹿行部	104		西部	94		
	南西部	102					
	西部	103					
栃木 (101)	北部	100					
	中部	101					
	南部	104					

注：1 作況指数は、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	都道府県 (作況指数)	作柄表示地帯	作況指数	
愛知 (96)	尾張	96	高知 (93)	中部	93	
	西三河	96		西部	96	
	東三河	95				
三重 (96)	北勢	96	福岡 (80)	福岡	80	
	中勢	95		北東部	81	
	南勢	93		筑後	78	
	伊賀	97				
滋賀 (98)	湖北	98	佐賀 (81)	佐賀	79	
	湖南	98		松浦	87	
京都 (98)	南部	98	長崎 (86)	南部	92	
	北部	98		北部	78	
大阪 (94)	-	94		熊本 (89)	五島	67
					壱岐・対馬	81
兵庫 (95)	県南	95	熊本 (89)		北蘇	91
	県北	97		阿蘇	89	
	淡路	96		南草	87	
奈良 (92)	-	92	大分 (77)	天草	85	
				北部	77	
和歌山 (92)	-	92		宮崎 (95)	湾岸	67
			南部		84	
鳥取 (100)	東部	100	鹿児島 (94)		日田	88
	西部	100		広域沿海	96	
島根 (99)	出雲	98		鹿児島 (94)	広域霧島	94
	石見	99	西北山間		93	
岡山 (95)	南部	93	鹿児島 (94)		薩摩半島	93
	中部	97		出水薩摩	95	
広島 (94)	南部	90		鹿児島 (94)	伊佐始良	91
	北部	96			大隅半島	96
山口 (73)	東部	83	鹿児島 (94)		熊毛・大島	95
	西部	67				
	長北	84				
徳島 (100)	北部	102	沖縄 (102)	沖縄諸島	103	
	南部	96		八重山	102	
香川 (100)	-	100				
愛媛 (91)	東予	86				
	中予	96				
	南予	94				

2 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は、早期栽培（第一期稲）と普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

9 令和2年産水稻の玄米品位の状況

単位：%

全国 農業地域	区分	整粒	未熟粒		被害粒	死米・着色粒
			乳白粒・腹白粒			
全 国	重量割合	68.6	24.9	2.9	6.5	0.7
	前年値	68.4	24.2	4.2	7.4	0.9
	対前年差(ポイント)	0.2	0.7	△ 1.3	△ 0.9	△ 0.2
北 海 道	重量割合	69.7	23.0	3.4	7.3	0.5
	前年値	65.2	26.8	4.7	8.1	1.3
	対前年差(ポイント)	4.5	△ 3.8	△ 1.3	△ 0.8	△ 0.8
東 北	重量割合	74.8	21.3	1.4	3.9	0.6
	前年値	74.0	18.4	2.9	7.5	0.5
	対前年差(ポイント)	0.8	2.9	△ 1.5	△ 3.6	0.1
北 陸	重量割合	67.6	24.5	3.1	7.9	0.8
	前年値	64.4	23.8	6.5	11.8	1.0
	対前年差(ポイント)	3.2	0.7	△ 3.4	△ 3.9	△ 0.2
関東・東山	重量割合	65.0	25.2	2.1	9.8	0.8
	前年値	70.6	23.7	3.6	5.8	0.7
	対前年差(ポイント)	△ 5.6	1.5	△ 1.5	4.0	0.1
東 海	重量割合	67.2	26.6	2.5	6.2	1.0
	前年値	63.9	29.9	5.2	6.3	1.4
	対前年差(ポイント)	3.3	△ 3.3	△ 2.7	△ 0.1	△ 0.4
近 畿	重量割合	63.6	28.3	4.9	8.1	0.5
	前年値	66.1	26.3	4.4	7.6	0.6
	対前年差(ポイント)	△ 2.5	2.0	0.5	0.5	△ 0.1
中 国	重量割合	70.3	26.4	4.1	3.3	0.5
	前年値	67.6	27.8	5.4	4.7	1.4
	対前年差(ポイント)	2.7	△ 1.4	△ 1.3	△ 1.4	△ 0.9
四 国	重量割合	68.6	28.0	4.9	3.4	0.8
	前年値	64.8	30.8	4.0	4.6	1.8
	対前年差(ポイント)	3.8	△ 2.8	0.9	△ 1.2	△ 1.0
九 州	重量割合	59.8	33.0	5.5	7.2	1.8
	前年値	61.7	32.7	3.5	5.6	1.5
	対前年差(ポイント)	△ 1.9	0.3	2.0	1.6	0.3

注：1 作況基準筆等の刈取試料を穀粒判別器を用いて品位分析したものである(九州には沖縄県のデータを含む)。

2 当該品位分析は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

なお、前年値は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

10 令和2年産水稻の被害面積及び被害量（全国）

被害種類	被害面積	被害量	被害率	
			実数	対前年差
	ha	t	%	ポイント
冷 害	47,000	8,720	0.1	△ 0.1
日照不足	1,235,000	238,100	3.0	0.0
高温障害	568,400	63,200	0.8	△ 0.4
いもち病	294,200	78,200	1.0	0.3
ウンカ	128,400	70,600	0.9	0.4
カメムシ	140,700	17,000	0.2	0.0

11 令和2年産陸稲の作付面積及び収穫量

全 国 都道府県	作付面積 (子実用)	10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子 実 用)	(参 考) 10 a 当たり 平均収量対比
	ha	kg	t	%
全 国	636	236	1,500	100
北 海 道	0	nc
青 森	0	nc
岩 手	0	nc
宮 城	-	-	-	nc
秋 田	-	-	-	-
山 形	-	-	-	-
福 島	1	nc
茨 城	447	245	1,100	101
栃 木	165	211	348	91
群 馬	x	nc
埼 玉	0	nc
千 葉	19	nc
東 京	1	nc
神 奈 川	x	nc
新 潟	x	nc
富 山	-	-	-	nc
石 川	x	nc
福 井	-	-	-	nc
山 梨	-	-	-	nc
長 野	-	-	-	nc
岐 阜	-	-	-	nc
静 岡	0	nc
愛 知	-	-	-	nc
三 重	-	-	-	-
滋 賀	-	-	-	nc
京 都	-	-	-	nc
大 阪	-	-	-	nc
兵 庫	-	-	-	nc
奈 良	-	-	-	nc
和 歌 山	-	-	-	nc
鳥 取	-	-	-	nc
島 根	-	-	-	nc
岡 山	-	-	-	nc
広 島	-	-	-	nc
山 口	-	-	-	nc
徳 島	-	-	-	nc
香 川	-	-	-	nc
愛 媛	-	-	-	nc
高 知	-	-	-	nc
福 岡	-	-	-	nc
佐 賀	-	-	-	nc
長 崎	-	-	-	-
熊 本	-	-	-	-
大 分	-	-	-	-
宮 崎	0	nc
鹿 児 島	-	-	-	-
沖 縄	-	-	-	nc

注：1 陸稲については、平成30年産から、調査の範囲を全国から主産県に変更し、作付面積調査にあつては3年、収穫量調査にあつては6年ごとに全国調査を実施することとした。令和2年産の収穫量調査は主産県調査年であり、全国調査を行った平成29年産の調査結果に基づき、全国値を推計している。

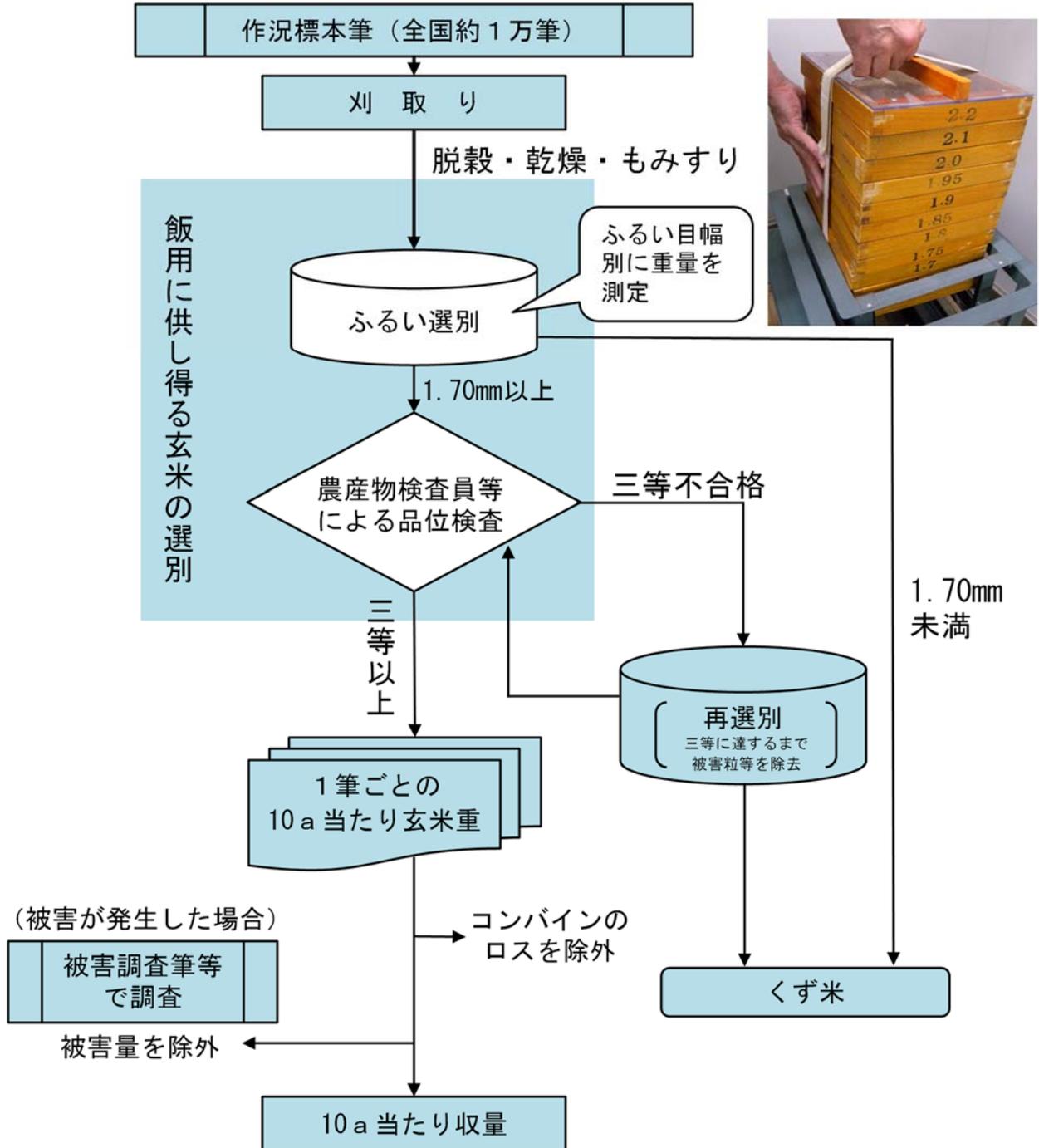
なお、主産県とは、平成29年産における全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県である。

2 (参考) 10 a 当たり平均収量対比とは、10 a 当たり平均収量(原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10 a 当たり収量の比率である。

【参考 1】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考 2】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。

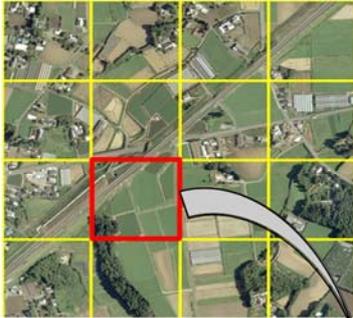


【参考2】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）^{ふで}は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約1万筆）調査している。

全国の全ての土地
(母集団)



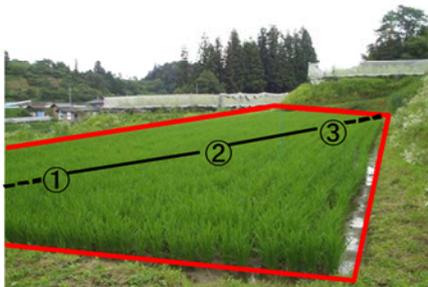
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
(200m四方の土地)



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
(全国で約1万筆)



- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び収穫量調査として実施したものであり、水陸稲の作付面積、作柄状況・収穫量等を明らかにすることにより、生産対策、需給見通しの策定、経営安定対策、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

ア 作付面積調査

(ア) 水 稲

全国の各都道府県を対象に実施している。

(イ) 陸 稲

令和2年産については、全国の各都道府県を対象に実施した。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査を3年ごとに実施しており、全国調査以外の年にあっては、直近の全国調査年における全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県（主産県）を調査の範囲としている。

イ 収穫量調査

(ア) 水 稲

全国の各都道府県を対象に実施している。

(イ) 陸 稲

令和2年産については、主産県を対象に実施した。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており、全国調査以外の年にあっては、直近の全国調査年における全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県（主産県）を調査の範囲としている。

(2) 調査対象の選定

ア 作付面積調査

(ア) 水 稲

水稲の栽培に供された全ての耕地

(イ) 陸 稲

陸稲を取り扱っている全ての農協等の関係団体

イ 収穫量調査

(ア) 水 稲

水稲が栽培されている耕地

(イ) 陸 稲

a 関係団体調査（全数調査）

陸稲を取り扱っている全ての農協等の関係団体

b 標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が8割に満たない都道府県については、2015年農林業センサスにおいて、販売目的で作付けし、関係団体以外に出荷した農林業経営体から作付面積の規模に比例した確率比例抽出法により抽出をした。

(3) 調査対象数

ア 作付面積調査

(ア) 水 稲

標本単位区：39,411単位区

(イ) 陸 稲

	関係団体調査		
	団体数 ①	回収数 ②	回収率 ③=②/①
陸 稲	団体 23	団体 23	% 100.0

イ 収穫量調査

(ア) 水 稲

作況標本筆：9,902筆、作況基準筆：430筆

(イ) 陸 稲

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効 回収数 ②	有効 回収率 ③=②/①	母集団 の大きさ ④	標本の 大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効 回収数 ⑦	有効 回収率 ⑧=⑦/⑤
陸 稲	団体 18	団体 11	% 61.1	経営体 1,156	経営体 346	% 29.9	経営体 88	% 25.4

注：「有効回収数」とは、集計に用いた関係団体及び標本経営体の数であり、回収はされたが、当年産において作付けがなかった関係団体及び標本経営体は含まれていない。

3 調査事項

(1) 作付面積調査

水陸稲：作付面積

(2) 収穫量調査

ア 水 稲：穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、10a 当たり収量、被害状況、被害種類別被害面積・被害量、耕種状況等

イ 陸 稲

(ア) 関係団体調査：作付面積及び集荷量

(イ) 標本経営体調査：作付面積、出荷量及び「自家用、無償の贈与、種子用等の量」

4 調査期日

(1) 作付面積調査

ア 水 稲：令和2年7月15日現在

イ 陸 稲：収穫期

(2) 収穫量調査

水陸稲：収穫期

5 調査・集計方法

(1) 作付面積調査

ア 水稲作付面積

(ア) 母集団の編成

空中写真（衛星画像等）に基づき、全国の全ての土地を隙間なく区分した200m四方（北海道にあっては、400m四方）の格子状の区画のうち、耕地が存在する区画を調査のための「単位区」とし、この単位区（区画内に存する

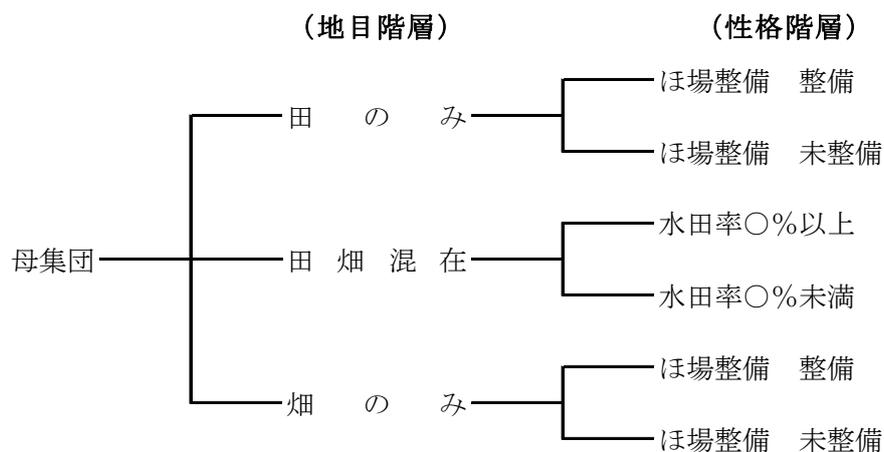
耕地の筆（けい畔等で区切られた現況一枚のほ場）について、面積調査用の地理情報システムにより、地目（田又は畑）等の情報が登録されている。）の集まりを母集団（全国約290万単位区）としている。

母集団は、ほ場整備、宅地への転用等により生じた現況の変化を反映するため、単位区の情報に補正することにより整備している。

(イ) 階層分け

調査精度の向上を図るため、母集団を各単位区内の耕地の地目に基づいて地目階層（「田のみ階層」、「田畑混在階層」及び「畑のみ階層」）に分類し、そのそれぞれの地目階層について、ほ場整備の状況、水田率等の指標に基づいて設定した性格の類似した階層（性格階層）に分類している。

階層分け模式図（例）



(ウ) 標本配分及び抽出

都道府県別の水稻作付面積が的確に把握できるよう階層ごとに調査対象数を配分し、系統抽出法により抽出する。

(エ) 実査（対地標本実測調査）

抽出した標本単位区内の水稻が作付けされている全ての筆について、1筆ごとに作付けの状況及びその範囲を確認する。

(オ) 推定

面積調査用の地理情報システムを使用して求積した「標本単位区の田台帳面積の合計」に対する「実査により得られた標本単位区の現況水稻作付見積り面積の合計」の比率を「母集団（全単位区）田台帳面積の合計」に乘じ、これに台帳補正率（田台帳面積に対する実面積の比率）を乘じることにより、全体の面積を推定している。

$$\text{推定面積} = \frac{\text{標本単位区の現況水稻作付見積り面積合計}}{\text{標本単位区の田台帳面積合計}} \times \text{全単位区の田台帳面積合計} \times \text{台帳補正率}$$

(カ) その他

遠隔地、離島、市街地等の対地標本実測調査が非効率な地域については、職員による巡回・見積り、情報収集によって把握している。

イ 陸 稲

関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査により行った。集計は、関係団体調査結果を基に職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

(2) 収穫量調査

ア 水 稲

(ア) 母集団

(1)のアの(イ)により、「田のみ階層」及び「田畑混在階層」の地目階層に分類される単位区を母集団としている。

(イ) 階層分け

都道府県別に地域行政上必要な水稻の作柄を表示する区域として、水稻の生産力（地形、気象、栽培品種等）により分割した区域を「作柄表示地帯」として設定し、この作柄表示地帯ごとに収量の高低、年次変動、収量に影響する条件等を指標とした階層分けを行っている。

(ウ) 標本配分及び抽出

都道府県別の標本数を階層別に水稻の作付面積に10 a 当たり収量の母標準偏差を乗じた積に比例して配分する。

階層別に配分された標本数を単位区の水稲作付面積(田台帳面積)に比例した確率で抽出する確率比例抽出法により標本単位区を抽出する。抽出された標本単位区内で、水稻が作付けされている筆から1筆を無作為に選定し、作況標本筆（実測調査を行う筆）とする。

(エ) 作況標本筆の実測

作況標本筆の対角線上の3か所を系統抽出法により調査箇所を選定し、株数、穂数、もみ数等の実測調査を行う。

(オ) 10 a 当たり玄米重の算定

各作況標本筆について、一定株数（1 m²分×3か所の株数）の稲を刈り取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後に、飯用に供し得る玄米（農産物規格規程（平成13年2月28日農林水産省告示第244号）に定める三等以上の品位を有し、かつ、粒厚が1.70mm以上であるもの）となるように選別し、10 a 当たり玄米重を決定する。

(カ) 10 a 当たり収量の推定

各作況標本筆の10 a 当たり玄米重の平均を基に、都道府県別の10 a 当たり玄米重平均値を推定し、これにコンバインのロス率（コンバインを使用して収穫する際に発生する収穫ロス）や被害データ等を加味して検討を行い、都道府県別の10 a 当たり収量を推定する。

さらに、作況基準筆（10 a 当たり収量を巡回・見積りにより把握する際の基準とするものとして有意に選定した筆をいう。）の実測結果及び特異な被害が発生した際に設置する被害調査筆の実測結果を基準とした巡回・見積り並びに情報収集による作柄及び被害の見積りによって推定値を補完する。

(キ) 収穫量及び被害量

作況標本筆の刈取り調査結果から推定した10 a 当たり収量に作付面積を乗じて収穫量を求める。

被害量は、農作物に被害が発生した後、生育段階に合わせて被害の状況を巡回・見積りで把握する。また、特異な被害が発生した場合は、被害調査筆を設置して調査を実施し把握する。

イ 陸 稲

関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査によって行った。

なお、収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた作付面積及び収穫量を基に算出した10 a 当たり収量(関係団体調査にあつては、標本経営体調査結果による自家消費等の量を勘案して算出) に作付面積を乗じて算出し、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集により補完している。

また、本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国値については、全国調査を行った平成29年産の全国の収穫量に、令和2年産における主産県の収穫量の合計値を平成29年産における主産県の収穫量の合計値で除した変動率を乗じて算出した。

6 実績精度

作付面積調査の対地標本実測調査における水稻作付面積、水稻収穫量調査の標本実測調査における10 a 当たり玄米重及び陸稲収穫量調査における10 a 当たり収量に係る調査結果(全国)の実績精度を標準誤差率(標本誤差の推定値÷推定値×100)により示すと、次のとおりである。

なお、陸稲の作付面積については、関係団体に対する全数調査結果を用いて算出しているため、実績精度の算定を行っていない。

区分	水稻		陸稲
	作付面積	10 a 当たり玄米重	10 a 当たり収量
標準誤差率 (%)	0.34	0.16	2.85

7 全国農業地域の表章区分

全国農業地域名	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

8 用語の解説

- (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等を指す。
- (2) 「作況指数」とは、10a 当たり平年収量に対する10a 当たり収量の比率である。

なお、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までの作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降の作況指数は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

令和2年産の作況指数の算出に用いるふるい目幅							
都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅	都道府県	農家等 使用目幅
北海道	1.90mm	東京	1.80mm	滋賀	1.90mm	香川	1.80mm
青森	1.90mm	神奈川	1.80mm	京都	1.85mm	愛媛	1.85mm
岩手	1.90mm	新潟	1.85mm	大阪	1.80mm	高知	1.80mm
宮城	1.90mm	富山	1.90mm	兵庫	1.85mm	福岡	1.85mm
秋田	1.90mm	石川	1.85mm	奈良	1.80mm	佐賀	1.85mm
山形	1.90mm	福井	1.90mm	和歌山	1.80mm	長崎	1.80mm
福島	1.85mm	山梨	1.80mm	鳥取	1.85mm	熊本	1.85mm
茨城	1.85mm	長野	1.85mm	島根	1.90mm	大分	1.80mm
栃木	1.85mm	岐阜	1.80mm	岡山	1.85mm	宮崎	1.80mm
群馬	1.80mm	静岡	1.80mm	広島	1.85mm	鹿児島	1.80mm
埼玉	1.80mm	愛知	1.85mm	山口	1.85mm	沖縄	1.80mm
千葉	1.80mm	三重	1.85mm	徳島	1.80mm		

- (3) 「10a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10a 当たり収量をいう。
- (4) 「10a 当たり平均収量対比」とは、10a 当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a 当たり収量の比率をいう。
- (5) 「被害面積」とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に収穫されると見込まれる収量から減収した面積をいう。
- (6) 「被害量」とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に収穫されると見込まれる収量より減収した量をいう。
- (7) 「被害率」とは、平年収量（作付面積×10a 当たり平年収量）に対する被害量の比率をいう。

9 その他

沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある。

これを含め、この資料の確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和3年2月予定）するとともに、その後発行する『耕地及び作付面積統計』及び『作物統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5 】

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞政策統括官

https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/

お問合せ先

◎本統計調査結果について

- ・ 作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3681

（直通）03-6744-2045

FAX： 03-5511-8771

- ・ 作柄概況に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3682

（直通）03-3502-5687

FAX： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>